

## 黒田総裁記者会見要旨(9月5日)

——G20終了後の麻生副総理、黒田総裁 共同記者会見における総裁発言要旨

---

2015年9月8日

日本銀行

—— 於・アンカラ

2015年9月5日(土)

午後6時20分から約25分間(現地時間)

### 【問】

中国のことが、このコミュニケ3. の国内で政策を行うときの「負の波及効果を最小化し、不確実性を緩和し、透明性を向上させるために、特に金融政策その他の主要な政策決定を行うにあたり、我々の行動を注意深く測定し、明確にコミュニケーションを行う」に該当するのではないかと思います。この負の波及効果というのは市場の混乱も含むのかという点と、よく読めば、これはアメリカのことも言っているのかと思えるので、総裁の受け止めに教えて下さい。

### 【答】

このパラグラフは、もちろんG20全ての国に対して言っているのであり、「我々は、負の波及効果を最小化し、不確実性を緩和し、透明性を向上させるために、特に金融政策その他の主要な政策決定を行うにあたり、我々の行動を注意深く測定し、明確にコミュニケーションを行う」ということですから、当然、中国であれ、米国であれ、その他のG20の国であれ、このコミュニケに書いてある通りにするという事に尽きると思います。

### 【問】

今回、共同声明に盛り込まれた構造改革ですとか、そういった金融市場の混乱に対する対応策について、その実効性というか、金融市場の混乱等を沈めていく効果は、早期に出るものなのか、それとも、やはり時間をかけて出ていくものなのか、その辺りの実効性、効果について、ご見解を伺えればと思います。

### 【答】

このコミュニケをご覧になって頂くと分かりますように、財政の問題、金融システムの問題、

あるいは金融政策、為替相場の問題等に関し、各種の政府の政策あるいは対応について、かなり詳しく書いてあります。その上で、先程申し上げたように、第3パラグラフで、様々な政策決定を行うにあたって、「我々の行動を注意深く測定し、明確にコミュニケーションを行う」ということで、市場に余計な変動をもたらさないようにするということが示されていると思います。各国とも、それぞれの国の経済情勢、金融市場の動向に即応して、様々な政策対応等をしているわけです。そうしたことによって、世界経済がバランスのとれた持続的な成長を遂げられるように、G20の各国は行動するということにコミットしているということが第1パラグラフに明確に書いてありますので、そういうことに従ってやっていくことによって、経済の成長も確保され、市場の安定も維持されるということだと思います。

以 上